



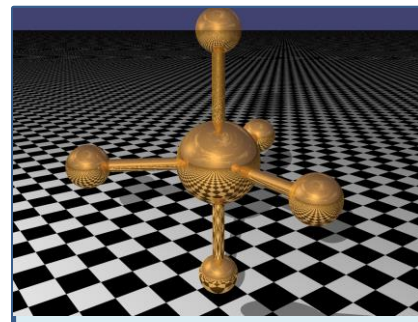
研究キーワード: 錯体化学、電子論を用いた材料設計

最近の研究課題

1. 金属錯体の配位子場分裂の自由自在制御

電子論的な手法を用いることで、主に物理と化学が融合する分野から、新しい機能性材料を設計・開発することを目的として研究しています。

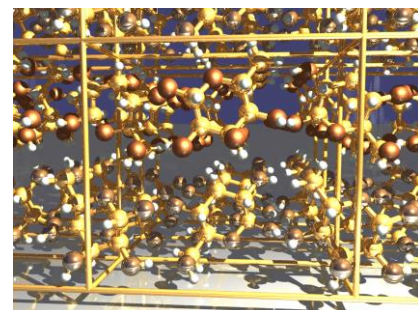
[五配位金属錯体のペリー擬回転の動画はこちら](#)



2. 超分子希少糖の結晶構造と電子構造

複数の異なる種類の希少糖分子を組み合わせ、これまでにない全く新しい超分子希少糖の合成に成功しました。希少糖を光学フィルタとして応用することが出来ます。

[超分子希少糖の動画はこちら](#)



3. 自然界の原理・原則・現象の解明

光学活性メカニズムの解明や酸解離定数のメカニズムの解明、さらには光合成のメカニズムの解明など、自然界におけるあらゆる原理・原則・現象の解明を行っています。

[旋光性についての動画はこちら](#)



[酸解離定数についての動画はこちら](#)

高校生の皆さんへ

身の回りにある様々な科学現象を理解することは、新しい材料を設計するうえでとても大切です。その過程を通して、様々な科学の原理を発見することが出来ます。私たちの研究が、将来中学校や高校の理科の教科書に掲載されることを願っています。

連絡先: tishii <@> eng.kagawa-u.ac.jp [<@> は @ に変更してください]